# 施策マネジメントシート

基本施策名	0 7 生涯学習の環境づくり	施策 統括課	公民館	氏名	清水 周				
政策名	3 文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	生涯学習課、くにたち中央図書館						
1 施策の目的と指標									
① 対象(誰, 何	「を対象にしているのか)*人や自然資源等	③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない							

1	施策の目的と指標						
1	対象(誰、何を対象にしてい	るのか) * 人や自然資源等			③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称	単位	
#	· F		♦	ア 人口 イ	人		
市民					ウ		
2	施策の目的				工  ④ 成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない		
					名称(展開方向ごとに記載) 「同学何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の	単位	
					割合	%	
					イ 市が主催する生涯学習事業の参加者数	人	
_	· 日	羽尾形的组织。长,去甲子科	554 ×5.~		ウ図書貸出冊数	万冊	
		習に取り組み、様々な局面で「 な学びを通して、学習の成果を		7	エ 図書館利用人数	人	
	:会で活かすことのできる			<b>\$</b>	才 公民館使用者数	人	
					カ		
					ア 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた 知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	%	
					2 知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	70	
2	第2次基本計画期間(令和	2~令和9年度)内における取組内			1		
	施策の展開方向	目的	H		手段(具体的な取組内容)		
			◆市の2	生涯	学習情報を集約し、多様な手段で情報を提供し	しま	
1	学習機会の充実と学習 情報提供の推進	日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、 学習を通じて生きがいを得て いる市民を増やします。	◆ライフステージに応じた学習機会の充実を図るとともに、様々テーマや課題に対応した学習を支援します。 ◆しょうがいのある方々が生涯を通じて、多様な学習・交流機会親しむことができるよう支援します。 ◆公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習交流機会の提供を推進します。また、学習者が利用しやすい施運営に努めます。 ◆市内の大学・高校、市民団体等の多様な主体との連携・協働より、学びの機会を増やします。				
2	学習成果を活かせる環 境づくりの推進		◆図書作る活動を	館協	果を活かすことを前提とした講座等を開催しまっ 力ボランティアなど、学習成果を地域において 爰します。 習の成果を活かせるサポートの充実を図ります	活かせ	
3							
4							

		単位	数値区分	H28年度	<b>、実績状況</b> H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R9年度				
	ア	人	見込み値						76,098	76,106	76,140	75,925	目標道	達成度		
	Ĺ	/\	実績値	75,054	75,466	75,932	75,984	76,282	76,423	76,278	76,182					
	1		見込み値													
対象指標			実績値										` <b>*</b> +	<u></u> →		
	ゥ		見込み値						ŀ				達成• 未達成	前年月		
	_		実績値 見込み値						-					比較		
	ェ		実績値						ł							
			成り行き値	62.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0				
			目標値	64.7	65.5	66.2	67.0	67.0	68.0	69.0	65.0	70.0				
	ア	%	実績値	67.9	63.1	61.2	63.4	70.0	73.3			<u></u>				
				基本計画にお		日常何らかの	の生涯学習に	取り組んでい	いる市民の割	合			†			
			指標	原の説明又は	出典元	出典元:国立	2市市民意識	調査								
			成り行き値											向上		
			<mark>目標値</mark>	8,250		8,750			<del></del>		11,000	12,500	\ <del>_</del> \+ _b			
	1	一人	実績値	8,304	,	9,339	8,180	4,231	5,379	7,149			未達成			
				基本計画にお 票の説明又は		公民館にお	ける生涯学習	習事業の参加	]者数							
			がおける おり だい はい	が説明又は	山典兀		1									
	展開		目標値	51.5	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	50.0	50.2		低下		
	方け	<b>万</b> 冊	実績値	50.8	50.3	49.8	47.9	39.4	46.2	43.1	00.0		未達成			
	向	/ /2 ///		基本計画にお				00.1	10.2	10.1			<b>水连</b> /%			
	1			の説明又は		図書貸出冊	数									
			成り行き値										未達成	低下		
			目標値	15,090	15,180	15,190	15,250	15,280	15,250	15,280	14,100	15,300				
		人	実績値	15,942		15,285	14,828	12,203	13,089	12,136						
				基本計画にお		図書館の年	間貸出利用。	人数	-	·	•					
成果指標	l	<u> </u>		の説明又は	出典元	四目加小	<b>                                    </b>	· \ 9A			,					
			成り行き値		70.000	70.500	70.000	70.500	74.000	74.500	70.000	75.000	未達成	向上		
	<b> </b>		目標値	71,500					<del></del>	74,500	73,000	75,000				
	^		実績値	73,890 基本計画にお	,	70,896	63,442	29,891	38,947	47,097			不连风			
				墨本計画にあ		公民館施設利用者及び同主催事業への参加者数										
			成り行き値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0					
			目標値	34.7	35.5	36.2	37.0	37.7	38.5	39.2	32.2	32.4				
	」ア	%	実績値	35.6	34.5	32.0	35.8	28.7	29.8							
	展 問			基本計画にお		学習活動に	取り組んでい	る市民の中	で、学習を通り			析を地域や				
	展開方向		-	の説明又は	出典元	社会に生か	している市民	の割合	出典元:国立	市市民意識詞	周査					
			成り行き値													
	2		日標値													
			実績値	基本計画にお	\1+ Z											
				陸本計画にあ 票の説明又は												
	$\vdash$		成り行き値	KON DU 91 X 10	ш <del>х</del> л											
			日標値													
			実績値													
				基本計画にお	おける		Į.		•							
				票の説明又は												
事務	事業		本数	17	14	11	14	15	17	17						
財		支出金														
事源	都道府		1 十円		16,100	3,000										
世業内	地	方債 の他	千円 千円				410									
<sup>囮</sup> 業内᠁ 貴費訳᠁	<u>て</u>	の他 B財源	十円	1/2 11/	01.000	70 500	410 174,278									
IJ <del>ĻĻ</del>		<u> </u>		143,114 143,114	91,990 108,090	79,598 82,598	174,278		1							
`\																
件 ———		務時間		67,640	61,734	60,372	65,129									
費人		計 (B)		211,555	187,142	185,384	184,841									
ト一タル	ノコスト	+(A)+(	(B) 千円	354,669	295,232	267,982	359,529									

## 4 施策の成果指標実績値に対する評価

(1)施策全体の成果実績目標達成度	A(高度に達成)~F(ほぼ未達成)
	八间及气压场/ 1155万压场/

C:一部の成果指標について目標を達成した

(2) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下) C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

# (3)上記(1)(2)の理由・背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年となったが、市民の生涯学習施設の利用については、コロナ以前の 状況に向けて回復傾向が見られる施設もある。しかし、依然として、令和元年度以前と比べて、生涯学習事業への参加活動や公 民館利用者数、図書貸出数等は大きく下回っている。

### 5 施策の現状 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

- (1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?
- ・人口減少、高齢化、子どもの貧困等の社会状況の変化に対応するため、主体的に判断して多様な人々と協働できる 学習や人材育成が求められている。行政として地域連携や生涯学習施策において、将来にわたる学習環境整備や地 域還元などの推進や支援する必要がある。
- ・国の第3期教育振興基本計画(H30~R4年度)では、5つの基本方針の3つ目を「生涯学び、活躍できる環境を整える」とし、人生100年時代の到来、持続可能な開発目標、しょうがいしゃ、職業に必要な知識やスキル等を主題として、生涯学習や学びの推進を掲げている。
- ・令和元年12月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申では、地域の実情を踏まえ、より効果的と判断される場合は、社会教育施設の首長部局への移管特例を認めている。
- ・国立市では、国立市生涯学習振興・推進計画(R元年5月)を策定し、生涯学習施策の推進を図っている。

### (2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実、直営方式の維持などが求められている。

#### (3) この施策に関して他自治体の取組状況と比較して国立市の取組状況はどうか?

・国立市民は他市住民と比べて、学習意識や自治意識が高い傾向にあると言われている。社会教育や生涯学習に対する要望も同様にあると思われ、それを受けた当市の本施策等の取り組みも他自治体と比較して前向きで先駆的な取り組みを展開しているものと考えている。

### (4)施策の具体的な取組状況

#### 4年度の取組状況

#### 〈生涯学習課>

- ・「生涯学習振興・推進計画」に基づく事業の実施及び検討を行った。
- ・「わくわく塾くにたち」に9件の申し込みがあり、延べ99名が参加された。
- ・サークル・団体登録名簿で約140の団体を掲載している。 <公民館>
- ・現代的課題や地域・生活課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践した(主催講座は39講座実施(637回)し、延べ5,645人の参加を得た)。

#### 〈図書館〉

- ・講演会など第三次子ども読書活動推進計画に基づく事業を実施した。
- ・音訳スキルアップ講習を実施した。
- ・中高生世代の読書推進に向けて、10代のためのブックリスト「LOOK BOOK」を作成し、市内学校、関連施設等に配布した。

## 5年度の取組予定

- ・「生涯学習振興・推進計画」に基づく事業の実施及び検討を行
- ・出前講座「わくわく塾くにたち」を実施し、市民の学びを支援する。
- ・サークル・団体登録名簿を公開し、市民の学びや活動を支援する。

#### <公民館>

・現代的課題や地域・生活課題などの様々なテーマを取り上げ、 市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践する。

#### <図書館>

- ・乳幼児向けブックリスト「えほんよんで!」を改訂し、発行する。
- ・第三次国立市子ども読書活動推進計画の期間終了を踏まえ、 第四次計画の策定を実施する。
- ・音訳、ブックスタート、読み聞かせのボランティアについて、新規 募集と養成講習を実施し、育成を図る。

## 6 4年度の評価結果 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)※基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

#### つ成里宝繕

〈展開方向1〉学習機会の充実と学習情報提供の推進

- ・第24期社会教育委員の会では、「横断・連携」を研究テーマとし、令和5年4月の意見書提出に向け、施設ヒアリングを行い、その後議論を進めた。
- ・公民館では人権課題や現代的課題、地域・生活の問題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学習を支援した(令和4年度は、39講座637回、延べ5,645人の参加を得た)。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、従来通りの来館型講座に参加できない市民に向けて、新たにICT機器を活用したオンライン型講座を実施した。
- ・第33期公民館運営審議会では、館長諮問「新型コロナウイルス感染拡大時における教育機関としての公民館事業について」調査・研究し議論を進め、10月に答申をまとめ提出した。その後、第34期公民館運営審議会がこの答申を引継ぎ、社会教育学習会「コロナ禍の公民館と私たち」を公民館と共同で、参加した市民と意見交換を実施した。
- ・図書館では、中高生世代の読書活動を援助する目的で、10代のためのブックリスト「LOOK BOOK」を発行した。
- ・図書館協議会への諮問や課内での検討を踏まえ、多様な資料要求に応える目的で、選定基準を改定し、マンガ資料の収集を行った。

#### 〈展開方向2〉学習成果を活かせる環境づくりの推進

- ・コロナ禍で様々な感染症対策を講じながら、市民や団体自らが実践する文化・芸術活動や発表、交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供した。施設全体の年間利用率は63.2%。
- ・市民参加の実行委員会形式による、第67回くにたち市民文化祭を開催(期間は令和4年10月22日~11月27日。公民館及び芸小ホール、福祉会館を会場)。

#### ○改善余地のある事項・課題等

〈展開方向1〉学習機会の充実と学習情報提供の推進

・図書館では、さまざまな情報要求に応えるため、資料収集においても多様性に留意し、紙媒体以外の形態の資料やLLブック、マンガ資料についても蔵書としていくよう努める。どんな状況下においても市民の読書要求に応えられる体制を作る。

### 〈展開方法2〉学習成果を活かせる環境づくりの推進

- ・学習成果を地域で活かせるように、一層の支援や助言をする必要がある。
- ・市民文化祭の参加団体を増加させるための工夫を検討し実施する。

### (2) 施策の3年度における総合評価

成果実績数値の評価(A~E)に、4(3)及び6(1)の定性的要素を加味した評価

A:目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。

C

B:一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。 C:成果向上のため、一層の努力が求められる。

- D:成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。
- E:現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。

## 7 施策の課題・今後の方向性 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

### (1)6年度の取組方針

- ・生涯学習振興・推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。
- ・公民館主催事業や講座を中心に市民の学習意欲の向上や学びを地域社会に還元できる取り組みを実施する。適宜、事業評価を 行った上で、若者支援事業や中高生の学習支援事業などを実施していく。
- ・第三次国立市子ども読書活動推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていくとともに、様々な状況にある市民の情報要求に対応できるよう蔵書構築や各種サービスを実施していく。

### (2)中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

- ・多様化・複雑化する地域社会において、市民のニーズに沿った公民館・図書館主催事業や講座を開催し、生涯学習に関する市民意識や学習力の向上、学びを地域社会で活かす取り組みを展開する。
- ・市内の大学などの高等教育機関や地域関係団体、市役所他部課などと相互に連携した事業を展開し、生涯学習の環境づくりを 醸成する。